

タイトル 「先生がお休みだつて？」

著作権…©石川県

登場人物

1. 日菜（ひな） 小学校5年生・女子
2. 遥（はるか） 小学校5年生・女子
3. 本田先生 日菜の小学校のクラス担任・男性
4. 日菜の父
5. 日菜の母
6. クラスの友達 数人
7. ナレーター

ナレーター とある小学校の放課後の様子です。

校庭のベンチで、小学生の女の子、二人が
何やら話し込んでいます。

遥 日菜ちゃん聞いたわよ。

先生が2学期からしばらく
お休みするんだって？

日菜 そうみたい。

遥 なんでなの。

日菜 何かね・・・よくわからないけど、

2か月前ぐらいに、先生のところに赤ちゃんが
生まれたの。

遥 それは聞いたよ。何かあったの？

日菜 よくわからないけど、2学期の間先生ずっと
お休みするんだって。

遥 お休みするのは先生の奥さんでしょう。

何でそんな話になるの。

日菜 だって、日本の世の中の仕組みだって・・・

遥ちゃん、わかる？

遥 わかんない。

ナレーター

実は、日菜の担任の本田先生のところに赤ちゃんが生まれたのです。

このことは、

おうちのお父さんやお母さんには、

もう話はされていたのですが、

子ども達には先生から、今日初めて話がありました。

子ども達は先生がお休みをするということは

わかるのですが、

なぜかということとは、

あまりわかっていないみたいです。

場面は日菜ちゃんのお家です。

日菜

お母さん、本田先生が2学期お休みするんだって。

お母さん

そうみたいね、お母さんも聞いてるよ。

先生はね、この間生まれた赤ちゃんのお世話をするんだって。

日菜

なんで、赤ちゃんのお母さんがしないの。

お母さん

赤ちゃんのお母さんも働いているでしょ。

ナレーター

日菜は、何で先生が赤ちゃんの世話をするのか、不思議に思っているのです。

日菜

お母さん、日菜が生まれたときはお父さんも、会社休んでいたの？

お母さん

日菜は3月生まれだったから、ちやうど1歳になるまでお母さんが仕事を休んでいたのよ。

そして、4月から日菜は保育園に行ったの。ときどき、お婆ちゃんやお爺ちゃんにも

日菜を迎えに保育園に行ってもらったのよ。

日菜

お父さんも迎えに行ってくれていたこと覚えている？
お婆ちゃんや、お爺ちゃんのごことは何となく覚えているけど、

そうだ、お婆ちゃんね、

よそのオバサンと話ばかりしていて、

なかなかお家に帰ってこれなかったこと思い出した。

お母さん

お婆ちゃんって、お話大好きだもんね。

日菜

お父さんも来てくれたの？

お母さん

そうね、ちよつとだけね。

ナレーター　しばらくすると、お父さんが仕事から帰ってきました。

お父さん　ただいま。疲れた、疲れた。

おっ　トンカツだ、トンカツだ。

お母さん　だめよ、つまみ食いはいは。

ちやんと手を洗ってきてね。

日菜　うふっ、子どもみたいねえ、

お父さん、聞きたいことがあるんだけど。

お父さん　何かね。

昔、お父さんがもてたときの話を知りたいのか？

日菜　そんなじゃないの。私が生まれたときに

お仕事休んだことあるの。

お父さん　そうだな、20回ぐらいあるかな。

お母さん　お父さん、子どもの前でウソつかないでね。

2回だけよ。

日菜、お父さんって1回すると

何回でもしたと都合良く話をするのよ。

日菜　あのね、お父さん、

私が生まれたときに仕事を休むって、

思わなかったの。

お父さん　なんだよ、突然　俺、風呂入る。

ナレーター　しばらくしてから、お父さんとお母さんが話をしていました。

お父さん　今日、俺、日菜に何か変なこと言ったか？
お母さん　どうして？

お父さん　突然、日菜の赤ん坊の時の話になったからさ。

お母さん　あらっ、素直にお父さんの気持ちを話せば良かったのに。

お父さん　えっ、……

お母さん　大丈夫よ、日菜のね、担任の先生が

お父さん　2学期中　育児休業を取るんだって。

お母さん　えっ、男が育児休業ー。

お父さん　時代よ、時代。私も正直なところ何でと思ったわ。

お母さん　でも、みんなで子育てしないと、

お父さん　世の中廻っていかないということだな。

お母さん　あらっ、ちゃんと知っているのね。

お父さん　日菜が大きくなったときは、

お母さん　男性が育児休業をとることも

お父さん　当たり前になっっているかもね。

お母さん　ね、お父さん、今、赤ちゃんが生まれたら

お父さん　育児休業を取ってくれる？

お母さん　おっ、取るよ、我が子だもん

お父さん　本当？

ナレーター 今日の日曜日です。日菜ちゃんのお家に遥ちゃんが遊びに来ています。

遥 日菜ちゃん、この間、本田先生のお休みの話をしていたじゃない。あれ、どう思う？

日菜 ちよつと、寂しいけれど仕方ないなーと、言った感じ。

遥 私のお婆ちゃんが言っていたけれど、昔は女の人って子どもが出来たら仕事を辞めていたんだって。

日菜 女は家、男は仕事って言う時代だったって。そんなことしていたら女の人仕事できないよ。将来どんな仕事をしていても、赤ちゃんを産んだからと言って、仕事をやめるって嫌だね。

遥 それから、うちのお母さんが言っていたけれど、赤ちゃんを育てていて大変と思ったときに、そばで誰かがいて協力してくれると、嫌なことも忘れるって。

日菜 それってお父さんのこと？

遥 うーん、お母さんの言うことはわかるんだけど、私のお父さんのイメージできないの。

日菜

でも、大人になるって大変だね。

勉強して、仕事を選んで、

結婚して、赤ちゃんを育てて、

何かよくわかんないね。

遥

お母さんも、お父さんもそんなこと考えて

私達を生んだのかな。

大変そーだね。

日菜

大人でも結婚していかない人もいるし、

子どものいない人もいるよ。

遥

何か、大人って、面倒くさそー。

ナレーター

二人は何となく無言になり、

考え込んでいました。

日菜

でも、うちのお母さんもお父さんも

大変そうなことを言っているのを

あまり聞いたことないよ。

遥

言わないだけかな。

日菜

何か別に楽しいことがあるのかな。

ナレーター 今日では1学期の終業式です。

場面は日菜ちゃんの教室です。

本田先生 みなさん、先生は9月から12月まで学校をお休みします。

先生の子どもの世話をするためです。

赤ちゃんのお母さんは8月まで仕事をお休みしたので今度は先生が交替します。

赤ちゃんから見るとお父さんもお母さんも親です。

子どもを育てるのは二人の親の役目なのです。

どちらかだけがすれば良いというものではありません。

先生は赤ちゃんを育てるのが初めてですが、

お父さんとしてわからないことは

お母さんに相談したり、

いろいろな大人達に教えてもらって、

4か月間頑張って我が子の子育てをします。

みなさんもその間一生懸命勉強をして下さい。

男子 先生、何だか嬉しそう。

女子 先生、赤ちゃんって毎日、毎日

体重が増えて行くんですね。

本田先生 そうですね。たくさん、たくさん、ミルクを飲んで大きくなります。

女子 先生、時々お手紙や写真を送ってね。

本田先生 そうします。楽しみにしていてね。

ナレーター 2学期に入って、時々、本田先生からお手紙が届いています。

クラスメイトのみんなは、ニコニコとした顔で、日に日に大きくなっていく赤ちゃんの写真を見ながらほほえんでいます。

男子 おお、赤ちゃんのおすました顔、先生に似てるよ。
はははは

女子 可愛いね、赤ちゃん見てると、
何でこっちもニコニコになるんだろ。

不思議だねー 小さいのに凄いな。
ねえ 手紙みんなに読んでよ。
読むよ。

「皆さん元気ですか。」

赤ちゃんは日に日に大きくなっています。

近頃では、お父さんの顔を見ながら笑ってくれますよ。
子どもを育てるって思っていたより大変ですが、
赤ちゃんの笑顔を見ると、よし、また頑張るよって
気持ちになります。

クラスの皆さんも、
病気やケガのないように気をつけて、
日々励んで下さい。」

ナレーター 小さな赤ちゃんの笑顔が、
クラスの皆にいろんな事を教えてくれました。

子ども達が、大人になったときに
このことを思い出して、

次の世代に伝えてくれるといいですね。